



主催：福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科
福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター
後援：田川市教育委員会、田川市社会福祉協議会

福岡県立大学リカレントセミナー

ドイツにおける インクルーシブ教育の実践

講師：アンスガール・シュトラッケ・メアテス博士
(アーヘン・インクルージョン研究所 所長)

通訳：三原 博光
(県立広島大学人間福祉学科 教授)

開催日時

▶▶▶ 2018年 10月 12日 (金)
12:50~14:20 (受付12:20~)

場所

▶▶▶ 福岡県立大学 大講義室

【問合せ先】

福岡県立大学 リカレントセミナー実行委員会
福岡県田川市伊田4395番地
TEL: 0947-42-2118 (代表) FAX: 0947-42-1491
担当 細井 勇 hosoi@fukuoka-pu.ac.jp

《 参加費無料 》

どなたでも参加できます



講演について

2006年、国連の障害者権利条約が採択されて以降、世界各国で障害者のインクルージョンが進められてきています。ドイツでは、障害児の教育が特別支援学校ではなく普通学校の一般教育の場で、積極的に進められています。

今回、世界的にインクルーシブ教育で著名なドイツ人研究者メアテス博士（アーヘン・インクルージョン研究所所長）を福岡県立大学に招聘し、ドイツの障害児に対するインクルーシブ教育実践のセミナーを開催します。障害児教育・福祉にご関心ある教職員、大学教員、学生など、自由にご参加下さい。



メアテス博士 略歴

1954年生まれ。アーヘン・インクルージョン研究所所長。障害教育学博士（主に知的障害）。ドイツ・ノルトライン・ヴェスト・ファーレン州、ベルギー教育委員会顧問。アーヘン大学、ケルン大学、NRWカトリック大学講師（障害教育学、心理学）。障害教育学博士（主に知的障害）。ドイツ国内はもちろん、ロシア、ノルウェー、スペイン、トルコ、インドネシアなどの国々の教育委員会で「ドイツ・インクルージョン」調査・講演などで国際的活動に従事。2015年にはロシア教育委員会の招聘により、モスクワにて「ドイツ・インクルージョン」の講演を行なわれました。



お申込み

お申し込みは、以下の内容をFAXまたはメールにて送信してください。
FAX：0947-42-1491（社会福祉学科行）。申込み締切は10月5日（金）17時です。

ふりがな		所 属	
氏 名			
住 所	〒		
連絡先	☎	✉	

※定員に達するまでは受付連絡いたしません。なお、定員に達した場合はお断りすることがあります。